

かたの民報

議会版

2010年4月4日
NO. 1502

【発行】
日本共産党
日市会議員団
ご相談は市役所
議員団控室へ
私部1-1-1
☎892-0121
(内線301)



中上 さち子
倉治 6-17-13
☎893-6785



さかの 光雄
私部 1-38-23
☎893-1083



さらがい ふみ
星田 7-44-21
☎894-2835

ゆうゆうバスの3台運行をめざす 日本共産党提案の「福祉バス条例案」

自民・公明・市民かがやきクラブ等が反対し、否決となる

市は9月より、ゆうゆうバスを3台から2台に減らすことを決め、この内容を含む予算案を提案しました。この削減案に対し、日本共産党は3月議会に、現行通り3台で運行する内容の「福祉バス条例案」を提出しました。しかし、自民党・公明党 市民かがやきクラブ等は、3月26日の市議会本会議にて、3台運行に反対し、条例案を否決しました。賛成は、日本共産党3名 中上、坂野、皿海と無党派1名（栗原）でした。

障がい者団体から要望書が提出される中で

3月議会には、「3台の運行を求める要望書」が、交野市身体障がい者福祉会、交野市精神障がい者家族の会・交野心の病と共に生きる市民の会・社会福祉法人心生会、大阪府視覚障害者福祉協会交野支部から、各議員に提出されました。また、1月には全日本年金者組合交野支部からも要望書が提出されました。今回の多くの議員の対応は、障がい者や高齢者の願いに背を向けたものといえます。

2台になれば、さらに移動が困難に

市は、2月3日開催の「交野市外出支援バス検討会議」にて、2台に削減した具体的なコース案、運行時間などを示しました。具体案は、障がい者や高齢者の移動がさらに困難になる内容となっています。

①平成20年度で、郡津コースは約6万4千人、倉治コースは

約4万5千人が乗車しています。この2コースを1コースにすれば、約11万人の乗車となり、今以上のバスへの積み残しがおこります。

②現在の運行時間は、郡津コース35分、倉治コース42分ですが、新コースは統合されて51分となります。星田コースは4

8分が新コースで58分となります。障害者、高齢者、妊婦、乳幼児などの利用者を考えると、コース時間の延長は身体的に厳しくなります。

③各コース1日9便が7便になります。そのために、行きは今までより早い便、帰りは今までより遅い便になります。

④私部8丁目、私市6丁目、星田西などのバス停がなくなる所もでてきます。

⑤日・祝日が連休となり、外出困難となります。



ゆうゆうバスの削減、財政上の理由には

市は、財政が厳しいとの理由で、ゆうゆうバス削減を提案しました。しかし、市は財政健全化計画の最終年度の27年度に基金を15億円以上残す計画であり、ゆうゆうバスの27年度までの削減額は5500万円です。基金から5500万円を取り崩しても、財政上問題はありません。また、現在、ゆうゆうセンターといきいきランドの借金返済が年間約15億円ありますが、27年度には9億円に下がり、30年度には2億7千万円に下がります。同時に、ゆうゆうバスでの広告料、募金などで収入確保を検討すべきです。

福祉バスの利用対象者はさらに拡大

平成20年度には約17万人が利用するようになり、高齢者、障がい者および介護者、妊産婦などの方にとってなくてはならない交通手段、外出支援のゆうゆうバスとなっています。交野市の高齢者と障害者合計の人口は、平成20年で1万8902人ですが、平成27年には2万3586人に、25%増となります。ゆうゆうバスの利用者はますます増えてきます。

日本共産党は、3台にもとずり組みをつづけます

中田市政の7年半の間に、交野の福祉水準が次から次に切下げられてきました。唯一誇れるのがゆうゆうバスでした。これも削減では、福祉が大きく落ち込みます。日本共産党は、高齢者や障害者などの外出支援のための福祉バスの3台維持のために、福祉の復活のために今後とも取り組んでいきます。今年9月5日は交野市長選挙です。